

「ななの絵本」事業報告

1. 活動の経緯

「ななの絵本」は、私（廣瀬朋美）が、3ヶ月のトイプードルのナナ（保護犬）を譲り受け、育てることになったことから始まります。保護された犬たちは、殺処分される為に生まれてきた命ではないのです。命の大切さ、人の優しさ、絆を伝えたいと考えたとき、幼いころ、母親が毎日寝る前に絵本を読んでもくれたことをふと思い出しました。それから、近所のお寺で毎月読み聞かせをするようになり、次第に輪が広がり現在に至ります。絵本のジャンルは問いません。ナナは、「ななの絵本」のマスコットキャラクターとなりました。2016年10月に絵本の読み聞かせをするボランティアグループとして主婦3人で始めました。2017年1月から毎月第三土曜日に欣浄寺で行われる絵本の読み聞かせイベントのため「ななの絵本」というボランティア団体として活動するようになりました。

2. 活動の場所及び参加者

大阪市ボランティア市民活動センター、東住吉区社会福祉協議会、あべのハルカス、近鉄百貨店、湯里住吉神社、生野区役所、大阪府立大型児童館ビッグバン、さわやかセンター、欣浄寺、画廊、図書館、幼稚園、カフェ等でボランティア活動をするようになりました。お客様は、現在、子ども、親子連れ、高齢者、障がい者など誰でもです。

3. 活動の広がり

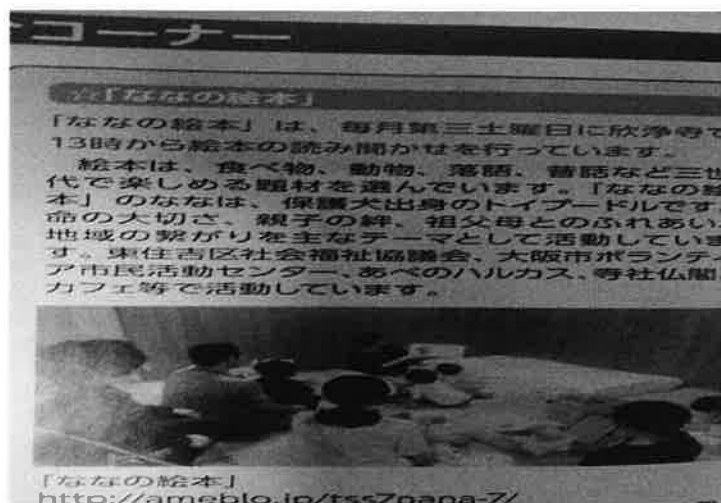
最初は、天満橋・谷町界隈の幼稚園児や小学生たちが中心でした。現在は、地域に隔たりにくく、老若男女に読み聞かせを行っています。また最近では、年配者は認知症予防になるということもあり、飛び入りで参加され大変好評を得ています。さらに「ななの絵本と作ろう」というワークショップでは、読み聞かせだけでなく、御絵描きも行っています。地域の繋がりのためなら、何でも取り入れてやっていこうと考えています。メンバーは、20人（男5人、女15人）です。それぞれの時間や特技を尊重し、明るく自由なグループです。

大阪市教育委員会による、未来の幼稚園教員・公立学校教員を目指す学生達の加点対象事業登録となっております。

活動の記録は、「ななの絵本」（アメーバブログ）に記載しています。

<http://ameblo.jp/tss7nana-7/>

活動は、地域情報誌、福祉系情報誌等にも取り上げていただいております。
大阪市民の健康づくりを応援する「すこやかパートナー」の記事



高齢者とリズムで遊ぼう



子ども達と 絵本の読み聞かせ劇

